



2021年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年10月13日

上場会社名 株式会社コシダカホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 2157 URL <https://www.koshidakaholdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 腰高 博
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 土井 義人 (TEL) 03-6403-5710
 定時株主総会開催予定日 2021年11月26日 配当支払開始予定日 2021年11月29日
 有価証券報告書提出予定日 2021年11月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期の連結業績(2020年9月1日~2021年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期	20,791	△52.0	△7,628	—	△3,092	—	△4,144	—
2020年8月期	43,303	△34.2	1,147	△87.9	1,699	△82.2	△231	—
(注) 包括利益	2021年8月期		△4,244百万円(—%)		2020年8月期		△357百万円(—%)	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年8月期	△50.84	—	△20.2	△7.1	△36.7
2020年8月期	△2.84	—	△0.8	2.9	2.7

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円 銭	
2021年8月期	41,973	18,178	43.3	222.96	
2020年8月期	44,555	22,911	51.4	281.01	
(参考) 自己資本	2021年8月期		18,178百万円	2020年8月期	22,911百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年8月期	△1,942	△4,474	2,285	5,171
2020年8月期	4,378	△9,124	5,784	9,297

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年8月期	—	8.00	—	4.00	12.00	987	—	3.6
2021年8月期	—	2.00	—	2.00	4.00	329	—	1.6
2022年8月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00		20.9	

3. 2022年8月期の連結業績予想(2021年9月1日~2022年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,063	40.8	29	—	1,806	—	1,264	—	15.51
通 期	40,093	92.8	2,701	—	4,459	—	3,121	—	38.29

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）－ 、除外 一社（社名）－

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年8月期	82,300,000株	2020年8月期	82,300,000株
② 期末自己株式数	2021年8月期	767,296株	2020年8月期	767,296株
③ 期中平均株式数	2021年8月期	81,532,704株	2020年8月期	81,483,222株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信【添付資料】P. 4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2020年9月1日から2021年8月31日)におけるわが国経済は、輸出の回復を受けた製造業を中心に企業収益や設備投資は持ち直しの動きが続いているものの、サービス支出を中心とした個人消費など一部に弱い動きが見られます。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

(カラオケ)

カラオケ業界では、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言・まん延防止等重点措置が繰り返し発令され、休業あるいは営業時間短縮等の活動制限の下、当社グループが当連結会計年度において通常に営業できた期間は、東京都で4割程度、国内全店でも6割強にとどまりました。加えて、マスコミ報道等により人流抑制が耳目を集め、来客数を押し下げる厳しい状況で推移しました。一方で、各種政策やワクチン接種が促進する中、抑えられていた消費が一気に爆発する「リベンジ消費」による消費回復が期待されております。

このような環境の中、当社グループでは、2019年9月にスタートした中期経営ビジョン「エンタメをインフラに」の実現に向け、慎重かつ積極的な投資を進め、首都圏を中心とした新規出店、カラオケチェーン店の譲り受けによる店舗網の拡充、「ライブビューイング」「KARASTA ONEREC(カラスト・ワンレック)」等新しいエンターテインメントの提供、社内研修施設「まねき塾」の都内移転及び教育体制の拡充を進めました。なお、海外店舗につきましても、各国政府から出される制限の下で営業となっており、休業や営業時間短縮を余儀なくされました。

当連結会計年度末のカラオケセグメント国内店舗数は、前連結会計年度末比37店舗増の559店舗(から揚げの天才店舗等含む)、海外店舗数は4か国12店舗(韓国4店舗、マレーシア6店舗、タイ1店舗、インドネシア1店舗)となりました。

以上の結果、カラオケセグメントの売上高は191億95百万円(前年同期比29.3%減)、セグメント損失は65億91百万円(同57億52百万円損失増加)となりました。

(温浴)

カラオケセグメントと同様、店舗内飲食店の営業時間短縮等の影響を受け、厳しい状況が続きました。

この結果、温浴セグメントの売上高は8億97百万円(前年同期比25.7%減)、セグメント損失は2億3百万円(同1億33百万円損失増加)となりました。

(不動産管理)

2019年2月に取得した前橋駅北口の複合商業施設「アクエル前橋」につきましては、2020年12月のグランドオープンを経て、継続的にテナントの入居が進んでおります。

この結果、不動産管理セグメントの売上高は6億98百万円(前年同期比9.7%増)、セグメント損失は1億81百万円(同1億4百万円損失増加)となりました。

以上により、当社グループ（当社及び連結子会社）の当連結会計年度の売上高は207億91百万円（前連結会計年度比52.0%減）、営業損失76億28百万円（同87億76百万円利益減少）、経常損失30億92百万円（同47億92百万円利益減少）、親会社株主に帰属する当期純損失は41億44百万円（同39億13百万円損失増加）となりました。

（2）当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における財政状態は次のとおりであります。

（資 産）

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ25億82百万円減少し（前連結会計年度末比5.8%減）419億73百万円となりました。

流動資産は43億64百万円減少し93億88百万円（同比31.7%減）となりました。これは主に、現金及び預金が41億23百万円、有価証券が20億円減少した一方で、その他が19億56百万円増加したことによるものです。

有形固定資産は9億75百万円増加し235億43百万円（同比4.3%増）となりました。これは主に、建物及び構築物（純額）が11億35百万円増加したことなどによるものです。

無形固定資産は1億12百万円減少し2億38百万円（同比32.1%減）となりました。

投資その他の資産は9億19百万円増加し88億3百万円（同比11.7%増）となりました。これは主に、繰延税金資産が4億76百万円、敷金及び保証金が8億27百万円増加した一方で、投資有価証券が5億33百万円減少したことなどによるものです。

固定資産の総額は17億81百万円増加し325億84百万円（同比5.8%増）となりました。

（負 債）

流動負債は3億69百万円減少し100億98百万円（同比3.5%減）となりました。

固定負債は25億21百万円増加し136億97百万円（同比22.6%増）となりました。これは主に、長期借入金が24億3百万円増加したことなどによるものです。

負債の総額は21億51百万円増加し237億95百万円（同比9.9%増）となりました。

（純資産）

純資産は47億33百万円減少し181億78百万円（同比20.7%減）となりました。これは主に、利益剰余金が46億34百万円減少したことなどによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末と比較して41億25百万円の減少となり、51億71百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動の結果、19億42百万円の資金流出となりました。前連結会計年度は43億78百万円の資金増加であり、流出額が63億20百万円増加しました。これは主に、税金等調整前当期純損失が47億50百万円増加したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動の結果、44億74百万円の資金流出となりました。前連結会計年度は91億24百万円の資金流出であり、流出額が46億49百万円減少しました。これは主に、有価証券の取得による支出が20億円減少し、有価証券の売却による収入が20億円増加したことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動の結果、22億85百万円の資金増加となりました。前連結会計年度は57億84百万円の資金増加であり、増加額が34億99百万円減少しました。これは主に、短期借入金の純増減額が45億円減少し、長期借入金の返済による支出が6億10百万円、配当金の支払額が6億50百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の経済見通しについては、新型コロナウイルス変異株による感染拡大への懸念が根強くありますが、各種政策やワクチン接種の進展に伴い、社会・経済活動は緩やかな持ち直し基調が続き、外食・旅行・娯楽等への影響がないことを前提に策定しています。

(カラオケ)

2021年10月1日の政府による緊急事態宣言等の解除に合わせ、国内全店の営業を再開しております。安心安全と健康の確保を最優先とした店舗運営を行うとともに、中断していた新規出店の再開、新しいエンターテインメントの開発提供を進めてまいります。また、店舗網の拡大、提供サービスの多様化・高度化に向け、人財の採用と育成を一層強化してまいります。

海外市場においては、引き続き各国政府の姿勢を注視しつつ、休業店舗の営業と新規出店の再開を目指します。

これらの施策により、カラオケセグメントの売上高379億99百万円(当連結会計年度比98.0%増)を見込んでおります。

(温浴)

カラオケ同様、安心安全と健康の確保を最優先とした店舗運営を継続するとともに、温浴施設内での新しいサービスの開発と人材の育成に努めていきます。

これらの施策により、温浴セグメントの売上高10億69百万円（当連結会計年度比19.2%増）を見込んでおります。

(不動産管理)

引き続き前橋駅北口の複合商業施設「アクエル前橋」のテナント誘致に注力し、早期の収益化を図ってまいります。また、所有不動産の効率活用と新たなエンターテインメント業態の開発を併せて進めてまいります。

これらの施策により、不動産管理セグメントの売上高10億24百万円（当連結会計年度比46.6%増）を見込んでおります。

以上により、2022年8月期通期の連結業績につきましては、売上高400億93百万円（当連結会計年度比92.8%増）、営業利益27億1百万円（同103億29百万円損失額減少）、経常利益44億59百万円（同75億52百万円損失額減少）、親会社株主に帰属する当期純利益31億21百万円（同72億66百万円損失額減少）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移および海外への事業展開の進展状況を踏まえながら、国際会計基準の適用について、検討していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当連結会計年度 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,890,483	5,766,843
受取手形及び売掛金	196,659	84,030
有価証券	2,000,000	—
商品	19,241	19,912
原材料及び貯蔵品	263,580	196,243
その他	1,383,496	3,339,597
貸倒引当金	△377	△17,641
流動資産合計	13,753,085	9,388,986
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	30,845,346	32,890,795
減価償却累計額	△14,228,797	△15,138,558
建物及び構築物(純額)	16,616,549	17,752,236
車両運搬具及び工具器具備品	13,487,560	13,255,768
減価償却累計額	△10,553,447	△10,809,378
車両運搬具及び工具器具備品(純額)	2,934,113	2,446,390
土地	2,795,246	3,344,448
建設仮勘定	221,892	—
有形固定資産合計	22,567,802	23,543,075
無形固定資産		
のれん	15,718	9,598
ソフトウェア	186,538	217,651
その他	148,946	11,160
無形固定資産合計	351,203	238,410
投資その他の資産		
投資有価証券	948,815	415,067
長期貸付金	807,013	1,129,652
長期前払費用	84,743	70,876
敷金及び保証金	4,433,530	5,261,103
繰延税金資産	1,722,114	2,198,588
その他	177,310	182,308
貸倒引当金	△289,780	△454,405
投資その他の資産合計	7,883,747	8,803,190
固定資産合計	30,802,753	32,584,676
資産合計	44,555,839	41,973,662

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当連結会計年度 (2021年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	235,458	189,785
短期借入金	4,500,000	4,500,000
1年内返済予定の長期借入金	2,585,328	2,956,712
未払金	516,771	660,635
未払費用	1,233,231	1,025,926
未払法人税等	18,212	59,107
賞与引当金	113,007	129,710
預り金	287,142	148,519
その他	978,958	427,733
流動負債合計	10,468,110	10,098,129
固定負債		
長期借入金	6,910,687	9,313,768
繰延税金負債	240,136	225,906
資産除去債務	2,956,500	3,409,037
その他	1,068,611	748,460
固定負債合計	11,175,936	13,697,172
負債合計	21,644,046	23,795,302
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,070,257	2,070,257
資本剰余金	3,302,786	3,302,786
利益剰余金	17,474,182	12,840,049
自己株式	△105,662	△105,662
株主資本合計	22,741,564	18,107,431
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,447	27,449
為替換算調整勘定	128,780	43,479
その他の包括利益累計額合計	170,228	70,929
純資産合計	22,911,792	18,178,360
負債純資産合計	44,555,839	41,973,662

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
売上高	43,303,711	20,791,480
売上原価	35,048,959	25,310,382
売上総利益又は売上総損失(△)	8,254,752	△4,518,902
販売費及び一般管理費	7,107,127	3,109,896
営業利益又は営業損失(△)	1,147,624	△7,628,799
営業外収益		
受取利息及び配当金	16,596	16,374
為替差益	—	151,082
解約金収入	180,000	566,427
補助金収入	437,685	3,814,951
その他	269,970	215,969
営業外収益合計	904,252	4,764,806
営業外費用		
支払利息	47,666	33,357
支払手数料	500	500
為替差損	41,387	—
貸倒引当金繰入額	192,947	158,534
その他	69,839	36,232
営業外費用合計	352,341	228,625
経常利益又は経常損失(△)	1,699,536	△3,092,618
特別利益		
固定資産売却益	20,639	74,187
投資有価証券売却益	808	57,123
特別利益合計	21,447	131,310
特別損失		
固定資産除却損	129,841	46,479
減損損失	1,403,612	1,480,852
関係会社株式評価損	—	74,702
特別損失合計	1,533,453	1,602,034
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	187,530	△4,563,342
法人税、住民税及び事業税	1,396,912	64,357
法人税等調整額	△977,866	△482,763
法人税等合計	419,045	△418,405
当期純利益又は当期純損失(△)	△231,515	△4,144,936
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△231,515	△4,144,936

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△231,515	△4,144,936
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△208	△13,998
為替換算調整勘定	△125,739	△85,300
その他の包括利益合計	△125,948	△99,299
包括利益	△357,464	△4,244,235
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△357,464	△4,244,235

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,070,257	3,302,786	26,447,399	△301,538	31,518,904
当期変動額					
剰余金の配当			△1,158,209		△1,158,209
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△231,515		△231,515
株式給付信託による自己株式の処分				195,876	195,876
連結範囲の変動			△7,583,491		△7,583,491
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△8,973,217	195,876	△8,777,340
当期末残高	2,070,257	3,302,786	17,474,182	△105,662	22,741,564

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	41,656	254,520	296,176	—	31,815,081
当期変動額					
剰余金の配当					△1,158,209
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)					△231,515
株式給付信託による自己株式の処分					195,876
連結範囲の変動					△7,583,491
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△208	△125,739	△125,948	—	△125,948
当期変動額合計	△208	△125,739	△125,948	—	△8,903,288
当期末残高	41,447	128,780	170,228	—	22,911,792

当連結会計年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,070,257	3,302,786	17,474,182	△105,662	22,741,564
当期変動額					
剰余金の配当			△489,196		△489,196
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△4,144,936		△4,144,936
株式給付信託による自己株式の処分					—
連結範囲の変動					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△4,634,132	—	△4,634,132
当期末残高	2,070,257	3,302,786	12,840,049	△105,662	18,107,431

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	41,447	128,780	170,228	—	22,911,792
当期変動額					
剰余金の配当					△489,196
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)					△4,144,936
株式給付信託による自己株式の処分					—
連結範囲の変動					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△13,998	△85,300	△99,299	—	△99,299
当期変動額合計	△13,998	△85,300	△99,299	—	△4,733,431
当期末残高	27,449	43,479	70,929	—	18,178,360

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	187,530	△4,563,342
減価償却費	4,492,624	3,809,544
減損損失	1,403,612	1,480,852
のれん償却額	179,716	7,520
商標権償却額	510,070	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△94,977	16,703
貸倒引当金の増減額(△は減少)	142,068	175,777
受取利息及び受取配当金	△16,596	△16,374
支払利息	47,666	33,357
有形固定資産売却損益(△は益)	△17,447	△72,856
売上債権の増減額(△は増加)	△681,172	116,670
たな卸資産の増減額(△は増加)	△331,215	67,886
未収入金の増減額(△は増加)	158,809	△1,867,753
仕入債務の増減額(△は減少)	△292,499	△50,858
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	△336,196	△139,247
その他	162,450	△1,065,302
小計	5,514,443	△2,067,423
利息及び配当金の受取額	16,596	16,374
利息の支払額	△46,157	△32,641
法人税等の支払額	△1,106,596	141,092
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,378,286	△1,942,598
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	—	2,000,000
有価証券の取得による支出	△2,000,000	—
有形固定資産の取得による支出	△5,656,355	△5,542,799
有形固定資産の売却による収入	43,270	78,461
無形固定資産の取得による支出	△326,995	△308,638
投資有価証券の取得による支出	△140,397	△56,456
投資有価証券の売却等による収入	50,463	566,757
敷金及び保証金の差入による支出	△784,594	△1,109,567
敷金及び保証金の回収による収入	25,791	217,246
貸付けによる支出	△278,031	△330,606
貸付金の回収による収入	15,847	17,162
その他	△73,372	△6,435
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,124,375	△4,474,875
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	4,500,000	—
長期借入れによる収入	6,000,000	5,731,800
長期借入金の返済による支出	△3,567,829	△2,957,335
リース債務の返済による支出	△7,497	—
配当金の支払額	△1,140,171	△489,196
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,784,502	2,285,268
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,616	6,210
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,040,030	△4,125,995
現金及び現金同等物の期首残高	12,530,137	9,297,152
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△4,273,015	—
現金及び現金同等物の期末残高	9,297,152	5,171,157

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、持株会社制を導入しており、持株会社である当社の下、各子会社は取り扱うサービスについて包括的な戦略を立案し事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、各子会社を基礎としたサービス別のセグメントから構成されており、下記の3区分を報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属するサービスの種類

- ① 「カラオケ」はカラオケボックス店舗の運営を行っております。
- ② 「温浴」は温浴施設の運営を行っております。
- ③ 「不動産管理」は賃貸等不動産の管理を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1) (注2)	連結財務諸表 計上額 (注3)
	カラオケ	カーブス	温浴	不動産管理			
売上高							
外部顧客への売上高	27,156,919	14,302,235	1,207,234	637,321	43,303,711	—	43,303,711
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	27,156,919	14,302,235	1,207,234	637,321	43,303,711	—	43,303,711
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△839,286	3,005,987	△70,375	△77,581	2,018,744	△871,119	1,147,624
セグメント資産	24,128,671	—	597,640	6,240,818	30,967,130	13,588,708	44,555,839
その他の項目							
減価償却費	3,776,679	897,035	83,179	217,637	4,974,532	28,163	5,002,695
のれんの償却額	138,929	40,787	—	—	179,716	—	179,716
減損損失	1,413,033	—	—	—	1,413,033	△9,420	1,403,612
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	5,712,788	—	28,639	289,924	6,031,352	357,431	6,388,783

- (注) 1. セグメント利益の調整額△871,119千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント資産の調整額13,588,708千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、その主なものは、余資運用資金(現金及び投資有価証券)及び管理部門に係る資産であります。
3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 当連結会計年度においてカーブス事業に分類していた株式会社カーブスホールディングスの当社が保有する全株式を現物配当により当社株主へ分配したことに伴い、株式会社カーブスホールディングス、Curves International, Inc.、株式会社カーブスジャパン及び株式会社ハイ・スタンダードの4社を連結の範囲から除外しております。このため、当連結会計年度のカーブス事業の売上高及びセグメント利益には、当該4社の2020年3月以降の売上高及び営業利益は含まれておらず、カーブス事業のセグメント資産はありません。

当連結会計年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1) (注2)	連結財務諸表 計上額 (注3)
	カラオケ	カーブス	温浴	不動産管理			
売上高							
外部顧客への売上高	19,195,081	—	897,552	698,845	20,791,480	—	20,791,480
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	19,195,081	—	897,552	698,845	20,791,480	—	20,791,480
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△6,591,530	—	△203,705	△181,950	△6,977,186	△651,612	△7,628,799
セグメント資産	27,241,578	—	528,479	7,015,328	34,785,386	7,188,276	41,973,662
その他の項目							
減価償却費	3,406,584	—	73,132	305,641	3,785,359	24,185	3,809,544
のれんの償却額	7,520	—	—	—	7,520	—	7,520
減損損失	1,406,383	—	—	74,468	1,480,852	—	1,480,852
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	5,096,345	—	13,650	805,676	5,915,672	270	5,915,942

- (注) 1. セグメント利益の調整額△651,612千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント資産の調整額7,188,276千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、その主なものは、余資運用資金(現金及び投資有価証券)及び管理部門に係る資産であります。
3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 前連結会計年度においてカーブス事業に分類していた株式会社カーブスホールディングスの当社が保有する全株式を現物配当により当社株主へ分配したことに伴い、株式会社カーブスホールディングス、Curves International, Inc.、株式会社カーブスジャパン及び株式会社ハイ・スタンダードの4社を連結の範囲から除外いたしました。このため、当連結会計年度においてカーブス事業の売上高及びセグメント利益の計上はなく、カーブス事業のセグメント資産はありません。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載しておりません。

当連結会計年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載しておりません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

(単位:千円)

	カラオケ	カーブス	温浴	不動産管理	全社・消去	合計
当期償却額	138,929	40,787	—	—	—	179,716
当期末残高	15,718	—	—	—	—	15,718

当連結会計年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

(単位:千円)

	カラオケ	カーブス	温浴	不動産管理	全社・消去	合計
当期償却額	7,520	—	—	—	—	7,520
当期末残高	9,598	—	—	—	—	9,598

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
1株当たり純資産額 281円01銭	1株当たり純資産額 222円96銭
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△) △2円84銭	1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△) △50円84銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1. 株主資本において自己株式として計上されている株式給付信託(J-ESOP)により信託口が所有する自社の株式は、「1株当たり純資産額」算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております(前連結会計年度 765,580株、当連結会計年度 765,580株)。

また、「1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失」の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は、前連結会計年度 815,062株、当連結会計年度 765,580株であります。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△231,515	△4,144,936
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△231,515	△4,144,936
期中平均株式数(株)	81,483,222	81,532,704